



# 市の 議会だより

2016年

NO. 46

平成28年11月1日発行  
青森県七戸町議会  
広報編集特別委員会



来年4月に開校する建設中の天間林中学校（上：背面 下：正面）（平成28年10月末現在）

## 9 月 定 例 会

決算審査特別委員会	.....	2～4
定例会の主な審議内容	.....	5
一般質問	.....	6～7
委員会の動き	.....	8

# 平成 27 年度各会計歳入歳出決算

## 決算審査特別委員会

### 賛成多数で認定（賛成 13、反対 1）

決算審査  
特別委員会  
9月6日・12日・13日

委員長

咄 清悦



副委員長

二ツ森 英樹



代表監査委員

野田 幸子



#### 反対討論



佐々木 寿夫 委員

子育て支援において、まず妊婦健診では、町外に健診のために行く交通費、あるいは宿泊費を助成するとか、さらに子供の学校給食費無料など、本当に頑張っている姿がわかります。

また、国保会計でも、厳しい中、ここ数年、国保税を上げずに、町の一般会計から繰り出して

でも、町民の国保の引き上げを防いできたなど、本当に評価すべき点は、たくさんあります。

しかし、一部反対のため、反対討論します。

一点目は、原子力防災計画が、できていない。

これは、やはり大変なことだと思っています。

七戸町は、隣々接で、

しかも50キロ圏外ですから、原子力防災協定をつくる義務は、ないわけですが、義務は、なくても町民の命を守る、財産を守る、こういう点では、やはり、原子力防災計画をきちんとつくって、この決算に、もらなければなりません。

二点目は、平成27年度、介護保険料も上がり、消費税も上がって、町民の生活は厳しくなっています。

この分は、やはり、町できちんと手当てをするべきではないか。

この二点を反対の理由として、反対討論とします。

#### 賛成委員

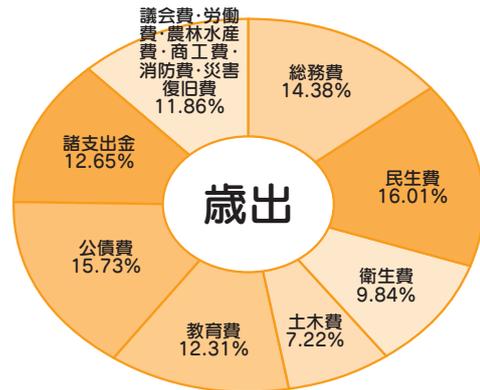
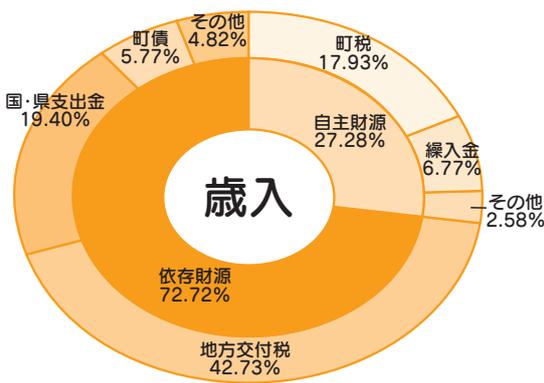
三白中田松田盛  
上石村上島本嶋  
正正政祐祐弘  
二洋彦義一津惠

瀬川田村岡附  
左川田村田岡  
一仁雄勇貞樹  
二英樹



決算審査特別委員会の様子

# 平成27年度 一般会計決算



歳入		103億1,427万7,447円
自主財源		28億1,275万3,182円
町税		18億4,905万1,323円
繰入金		6億9,820万0,203円
その他	分担金及び負担金	2,269万4,834円
	使用料及び手数料	8,114万6,891円
	財産収入	2,557万6,738円
	寄附金	301万0,000円
	繰越金	6,129万9,002円
	諸収入	7,177万4,191円
	依存財源	75億0,152万4,265円
地方交付税	44億0,776万6,000円	
国・県支出金	20億0,172万9,263円	
町債	5億9,570万0,000円	
その他	地方譲与税	1億5,967万4,002円
	利子割交付金	207万3,000円
	配当割交付金	388万5,000円
	株式等譲渡所得割交付金	271万8,000円
	地方消費税交付金	2億9,509万1,000円
	自動車取得税交付金	2,708万8,000円
	地方特例交付金	314万2,000円
	交通安全対策特別交付金	265万8,000円

歳出		102億1,208万1,604円
総務費	14億6,890万5,922円	
民生費	16億3,504万2,346円	
衛生費	10億0,502万1,410円	
土木費	7億3,770万5,779円	
教育費	12億5,720万5,945円	
公債費	16億0,583万5,771円	
諸支出金	12億9,172万0,944円	
議会費	1億1,030万0,068円	
労働費	104万3,000円	
農林水産業費	5億6,597万3,893円	
商工費	2億3,641万4,646円	
消防費	2億9,174万1,540円	
災害復旧費	517万0,340円	

歳入	103億1,427万7,447円
歳出	102億1,208万1,604円
差引額	1億0,219万5,843円
◎差引額のうち、7千万円を基金に繰入	

## 一般会計対前年度比較表

(単位：円)

区分	予算現額	歳入		歳出		
		収入済額	収入未済額 ※1	支出済額	翌年度繰越額	不用額 ※2
平成27年度	10,501,882,000	10,314,277,447	287,266,576	10,212,081,604	191,821,000	97,979,396
平成26年度	9,988,422,000	9,808,888,232	307,734,981	9,677,589,230	222,312,000	88,520,770
差引額	513,460,000	505,389,215	△ 20,468,405	534,492,374	△ 30,491,000	9,458,626

※1 収入未済額＝見込んだ収入額と実際の収入額との差額 ※2 不用額＝経費の節減等により支出が減となった額

## 監査委員審査意見

審査に付された各決算は関係書類と照合した結果、計数において誤りがなく、各決算の内容及び予算の執行については議決予算によって執行されており、法令規則に基づいて適切に処理されているものと認めた。

町税・国民健康保険税及び税外収入に係る不納欠損処理については、今後とも適正な対応が望まれる。

また、現年課税分の収入未済額については、町税・国民健康保険税及び税外収入（住宅使用料、水道使用料等）に年々減少の傾向がみられるものの、賦課徴収の公平性確保はもとより、徴収率を向上させて収入未済額を極力解消するよう、なお一層の厳しい対応が望まれる。

## 特 別 会 計 決 算

## ◎ 国民健康保険

(単位：円)

区 分	予算現額	歳 入		歳 出		
		収入済額	収入未済額 ※1	支出済額	翌年度繰越額	不用額 ※2
平成27年度	2,551,934,000	2,541,832,141	118,922,197	2,541,832,141	0	10,101,859
平成26年度	2,252,578,000	2,221,346,129	133,954,336	2,221,346,129	0	31,231,871
差 引 額	299,356,000	320,486,012	△15,032,139	320,486,012	0	△21,130,012

## ◎ 後期高齢者医療

(単位：円)

区 分	予算現額	歳 入		歳 出		
		収入済額	収入未済額 ※1	支出済額	翌年度繰越額	不用額 ※2
平成27年度	350,854,000	351,137,980	75,500	350,623,792	0	230,208
平成26年度	335,336,000	335,280,955	39,000	335,114,953	0	221,047
差 引 額	15,518,000	15,587,025	36,500	15,508,839	0	9,161

## ◎ 介護保険

(単位：円)

区 分	予算現額	歳 入		歳 出		
		収入済額	収入未済額 ※1	支出済額	翌年度繰越額	不用額 ※2
平成27年度	2,352,410,000	2,361,297,299	6,994,589	2,361,904,278	0	35,505,722
平成26年度	2,297,318,000	2,306,509,918	7,608,320	2,242,636,059	0	54,681,941
差 引 額	55,092,000	54,787,381	△613,731	74,268,219	0	△19,176,219

## ◎ 介護サービス事業

(単位：円)

区 分	予算現額	歳 入		歳 出		
		収入済額	収入未済額 ※1	支出済額	翌年度繰越額	不用額 ※2
平成27年度	6,298,000	6,571,313	0	6,038,838	0	259,162
平成26年度	6,504,000	6,597,439	0	5,844,605	0	659,395
差 引 額	△206,000	△26,126	0	194,233	0	△400,233

## ◎ 七戸霊園事業

(単位：円)

区 分	予算現額	歳 入		歳 出		
		収入済額	収入未済額 ※1	支出済額	翌年度繰越額	不用額 ※2
平成27年度	1,937,000	1,945,385	0	1,899,399	0	37,601
平成26年度	3,168,000	3,178,752	0	3,128,788	0	39,212
差 引 額	△1,231,000	△1,233,367	0	△1,229,389	0	△1,611

## ◎ 公共下水道事業

(単位：円)

区 分	予算現額	歳 入		歳 出		
		収入済額	収入未済額 ※1	支出済額	翌年度繰越額	不用額 ※2
平成27年度	411,245,000	411,435,861	7,474,477	411,213,293	0	31,707
平成26年度	428,419,000	428,846,728	7,643,121	428,203,724	0	215,276
差 引 額	△17,174,000	△17,410,867	△168,644	△16,990,431	0	△183,569

## ◎ 農業集落排水事業

(単位：円)

区 分	予算現額	歳 入		歳 出		
		収入済額	収入未済額 ※1	支出済額	翌年度繰越額	不用額 ※2
平成27年度	60,206,000	60,214,876	2,818,026	60,195,955	0	10,045
平成26年度	60,603,000	60,635,344	2,883,454	60,592,409	0	10,591
差 引 額	△397,000	△420,468	△65,428	△396,454	0	△546

## ◎ 水道事業(収益的収支)

(単位：円)

区 分	歳 入			歳 出			
	予算現額	決算額(税込)	決算額(税抜)	予算現額	決算額(税込)	決算額(税抜)	不用額 ※2
平成27年度	345,179,000	349,061,916	326,714,573	327,300,000	269,406,500	264,566,010	57,893,500
平成26年度	463,976,000	467,100,398	446,404,849	315,467,000	266,935,619	262,260,602	48,531,381
差 引 額	△118,797,000	△118,038,482	△119,690,276	11,833,000	2,470,881	2,305,408	9,362,119

(※1、※2は、3ページ注記参照)

平成28年度9月補正予算

区分	補正額	予算総額
一般会計	3億2,401万8千円 →	106億4,263万9千円
特別会計	後期高齢者医療	37万8千円 → 3億6,060万7千円
	介護保険	4,131万5千円 → 23億8,206万0千円
	七戸霊園事業	4万4千円 → 193万9千円
	公共下水道事業	770万0千円 → 4億1,342万1千円
	農業集落排水事業	70万0千円 → 6,389万1千円
水道事業会計	収益的支出 410万0千円 →	3億3,823万1千円
	資本的支出 180万0千円 →	3億5,899万0千円

議案

主な審議内容

9月定例会

○平成28年度補正予算  
(左表参照) ☆全会一致で可決

平成28年第3回定例会は9月6日に開会し、瀬川左一議会運営委員長の報告のとおり、会期を14日までの9日間と決定しました。  
6日は、町長の提案理由説明、決算審査特別委員会を設置、8日は一般質問(2人)、12日・13日は、特別委員会で決算審査、最終日の14日は議案審議を行いました。  
提出された議案は、本会議で審議され、全議案可決され予定どおり閉会しました。

一般会計補正予算の内容

- 歳入の主なもの
  - ・地方交付税 2億789万4千5百円
  - ・国庫支出金 1億033万4千円
  - ・繰入金 1億406万8千円
- 歳出の主なもの
  - ・総務費 (戸籍住民基本台帳費) 1億750万6千円
  - ・民生費 (社会福祉費) 1億842万8千円
  - ・商工費 (商工費) 2億017万2千円
  - ・土木費 (道路橋梁費) 2億276万1千円
  - ・教育費 (小学校費) 2億276万1千円
  - ・教育費 (中学校費) 2億276万1千円
  - ・教育費 (中学校購入費 他) 2億276万1千円

報告

○専決処分事項の報告  
町道における事故に係る和解及び損害賠償の額を定めることについて  
☆全会一致で承認

○平成27年度七戸町一般会計継続費の精算報告について  
☆報告

○平成27年度決算に基づく健全化比率及び資金不足比率の報告(下表)  
☆報告

陳情

○安全・安心の医療・介護を求める陳情書  
賛成15人 反対0人  
☆採択

健全化判断比率・資金不足比率

	平成27年度七戸町における比率	国の示す早期健全化基準	①～④のいずれかの数値が、国の示す基準数値を超えた場合は、破たん寸前の「早期健全化団体」に指定され、財政再建計画などが義務付けられる。 ⑤の資金不足比率は、公営企業会計(水道、下水道)の営業収益に対する手持ち資金の不足額の割合で、低いほど健全とされる。 七戸町は、すべての項目が数値を下回っているため、弾力ある財政運営が可能になっている。
①実質赤字比率	— (%)	14.16 (%)	
②連結実質赤字比率	— (%)	19.16 (%)	
③実質公債費比率	7.1 (%)	25.0 (%)	
④将来負担比率	25.9 (%)	350.0 (%)	
⑤資金不足比率	— (%)	20.0 (%)	



この研修は、議会議員の資質の向上を目的として、毎年行われています。講師に、テレビ朝日コメンテーターの川村晃司氏(青森県生まれ)をお迎えし「これからの政局・政治動向」と題して講演をいただきました。

青森県町村議会議長会主催の議員研修会が青森市民ホールで開催されました。  
7月14日  
県下町村議会議員研修会

# 平成 27 年度改正の介護保険法に 対する対策について

## 一 般 質 問

佐々木寿夫 議員



一問一答方式

町長

総合事業へは移行するが今までどおり  
対応する。利用料金はふえない。

施設に入所して介護サービスを受けるより、自宅で生活に必要な介護サービスを受けるほうが、介護給付費も少なくなり、生きがいにつながる。

議員

平成 27 年度から要支援 1・2 の方のヘルパー・デイサービスは、介護保険給付から外れた。また要介護 1・2 の方は、特養の入所が対象外になった。そのことによる不利益にどう対処するか。

町長

要支援 1・2 の方は、今までどおり予防給付で対応している。また要介護 1・2 の方で、入所していた方は、そのまま入所できる。

議員

平成 29 年 3 月までに、地方自治体の総合事業に移ることになっているが、総合事業の内容、要支援 1・2 の町民への対処は、また、介護利用料の料金と財源はどうなるのか。

町長

総合事業は、高齢者が安心して自立した日常生活を送るための支援などを目的としており、地域の実情に応じた多様なサービスの提供ができる。

要支援 1・2 の方は、今までどおり対応する。

財源は、国、県、町。負担割合は、現在の地域支援事業の割合と変わらず、公費と保険料がそれぞれ 50% ずつで、公費の内訳は、国庫交付金 25%、県交付金 12・5%、町負担 12・5% となっている。

総合事業に移行しても、利用料金はふえない。

議員

地域事業では、地域のボランティア活動による生活支援を想定している

議員

が、そのためにも介護事業所の役割が重要ではないか。

町長

町では、サービスと利用料金は、現状維持という方針に従って、サービス提供も介護事業者も想定している。

そのために、住民によるボランティア、あるいは NPO 団体等のサービスの提供者とする考えは、今のところない。

議員

この 8 月から施設の利用負担制限（補足給付）が廃止され、非課税年金が収入と見なされ、居住費や食料費が高くなるが、町の対策は。

町長

部屋代や食事代については、本人による負担は原則であるが、低所得者の方については、負担軽減を行っている。

公平性を高めるため、見直しが行われ、対策を行うことは考えていない。

議員

要介護 1・2 の方の生活介助や車椅子など、福祉用具貸与を保険給付から外し、原則自己負担することが検討されているが、どう考えているか。

町長

当面は、国の示す方向性を踏まえて、介護予防給付として対応する。

### 七戸町臨時職員の待遇改善について

議員

総務省は、2014 年 7 月、官製ワーキングプア（働く貧困層）と言われる地方自治体の臨時・非常勤職員の待遇改善などを求める通知を出した。

町長

町の臨時職員の職員数はどれくらいか。これらの職員の賃金は、いつどのように決められたか。

町長

期限付き職員 18 名、放牧監視員などの日々雇用職員 3 名、学童保育クラブ指導員や学校生活相談員など非常勤職員 45 名、

議員の総数は 66 名。

平成 17 年の町村合併時に、両町村で協議し決定した職種や賃金をもとにして、平成 25 年 4 月に規定の改正により、職種の拡大や賃金の改定を行い、現在に至っている。

議員

町の期限付き臨時職員は、時給 800 円、日給約 6400 円、月給 13 万円前後。これでは到底暮らしていくことはできません。人事院勧告も上がり、最低賃金も上がったが、臨時職員の賃金を上げる考えはあるか。

社保や労働保険の加入状況はどうか。

町長

近隣自治体の賃金と比較して、高い水準である。近隣自治体とのバランスを見ながら、できるだけ上げていきたい。

法律で加入が義務づけられている職員は、基本的に全員加入している。

# 幼児等がスポーツに関心を 持つような取り組みは

呷 清悦 議員



一問一答方式

町長

## 誰でも参加できる軽スポーツの集いと 低学年児童対象の軽スポーツ教室を実施

議員

リオ・オリンピックでの日本選手の活躍は、国民を大いに元気にした。

オリンピック選手の共通点は、幼い時からその種目に興味を持ち練習を開始していること、そのきっかけが親であることが多い。

初期の段階は、親が一番の指導者でありスポンサーであると感じた。

才能を持って生まれた子供でも、スポーツを始める機会に恵まれなければ、せっかくの才能が埋もれたままになってしまい、非常にもったいない。自分の子供がスポーツに興味を持つ機会を十分に与えられない保護者が

多いと思う。

実情の把握は。

町長

今後、新しい体育館の建設に向けて、町民へのアンケート調査等を実施する予定。その中で、スポーツをしていない子供たちの理由や保護者の関心度等を把握できるように調査項目を設け、現状を把握していきたい。

議員

当町のスポーツ振興策は、子供がスポーツに興味を持つ機会を十分に与えることができるか。

町長

今年度は、その第一歩として、スポーツの楽しさや他の者との連帯感を体感してもらうという観点から、ルールが簡単で遊び感覚でできる軽スポーツを奨励し、子供から高齢者までが参加できる軽スポーツの集いの事業を実施する予定。

また、モデル的に天間西小学校の低学年児童を対象とし、放課後の時間

を活用した軽スポーツ教室を開催し、スポーツに触れるきっかけとなる事業を実施する。

行政以外では、町サッカー協会、幼稚園やこども園等の未就学児を対象に、体を動かすことから始め、遊びを含めた運動を行い、スポーツに興味を持たせるためのサッカー体験教室などの取り組みを行っている。

議員

スポーツ振興策の現在の課題は。

町長

児童・生徒の減少で、スポーツ少年団に加入する児童が減少していることと、中学校の部活動において、1校だけでチームを編成できない団体競技が増えていること。スポーツ少年団や部活動をしている児童・生徒指導者を巻き込んだ保護者間のトラブルも増えて、その解決や指導者不足とその確保も大きな課題。

## 選挙事務について

議員

今年7月の参議院選挙で、大阪府泉大津市選挙区が、参院選当日用の全投票用紙、計約8万枚を誤って廃棄処分した。

当町の対策は十分か。

選挙管理委員会事務局長

青森県選挙管理委員会から受領した約3万枚の投票用紙を、18投票区と期日前投票所ごとに袋詰

めして、鍵のかかる選挙専用の保管庫で管理しているため、誤破棄は起きないと考えている。

議員

民主や民主党と書かれた票を、無効と判断した選挙もあれば、民進党の有効票として判断した選挙もある。市町村選管で判断にはらつきがあるのは問題で、統一すべきだが、当町選管の判断は。

選挙管理委員会委員長

民主と記載した投票が自由民主党、社会民主党

解散した民主党のいずれかに対するものか判断することは困難であることから、無効票とした。

議員

姓は正確に書けても、名を間違えて無効になるとすれば、字を正確に書く自信がない人は、他に同じ姓の候補者がいない場合、姓だけ書いた方が良いことになる。

当町選管の判断は。

選挙管理委員会委員長

記載の状態から効力が決定されるため、字が間違っているからと一概に無効と判断してはいない。投票した選挙人の意志が明白であれば、有効にしなければならぬと規定されているので、1票1票を点検して効力を決定している。

同じ姓の候補者がいない場合、姓だけを書いた方が良いことになる事例においては、そのとおりだが、全ての選挙でそうして良いと判断できない。

# 委員会 の 動き

## ◎総務企画常任委員会

開催日 平成 28 年 8 月 19 日

案 件 ① 9 月定例会における各課懸案事項

② 平成 27 年度滞納状況及び不納欠損

(町税・国民健康保険税・介護保険料)

内 容 各課長より懸案事項の説明、税務課長より滞納状況等の説明を受け協議した。

## ◎建設産業常任委員会

開催日 平成 28 年 8 月 24 日

案 件 ① 9 月定例会における各課懸案事項

② 平成 27 年度滞納状況(住宅使用料・水道使用料・下水道使用料)

内 容 各課長より懸案事項の説明、建設課長・上下水道課長より滞納状況の説明を受け協議した。

## ◎文教厚生常任委員会

開催日 平成 28 年 8 月 25 日

案 件 ① 9 月定例会における各課懸案事項

② 平成 27 年度滞納状況(奨学資金貸付金・保育料・後期高齢者医療保険料)

内 容 各課長より懸案事項の説明、学務課長・社会生活課長・町民課長より滞納状況の説明を受け協議した。

開催日 平成 28 年 9 月 6 日

案 件 陳情の取り扱いについて

内 容 「安全・安心の医療・介護を求める陳情書」について審査し、採択すべきものと

## ◎議会運営委員会

開催日 平成 28 年 8 月 26 日

案 件 ① 9 月定例会提出議案等

② 決算審査特別委員会の運営方法

内 容 総務課長・財政課長より提出議案等の説明を受けた後、一般質問、陳情の取り扱い、決算審査特別委員会の運営方法、会期日程等を審議した。

## ◎議会改革特別委員会

開催日 平成 28 年 8 月 26 日

案 件 七戸町まちづくり基本条例について

内 容 「七戸町まちづくり基本条例」について、議会条例部分を審議した。

## ◎議会広報編集特別委員会

開催日 平成 28 年 10 月 6 日・13 日

案 件 議会広報第 46 号の編集について

内 容 11 月 1 日発行の「しちのへ議会だより」の編集を行った。

## 編集後記

「秋は稔り」、太陽・水・大地・労働、これらが大きな稔りをもたらす。議会にとって、太陽は

(佐々木)

町民の声・願い・支えに  
応え、読みやすい町民  
参加の広報のために、  
広報委員会は努力していま  
す。

町民の声、水は町民の願  
い、大地は町民の支え、  
労働は議員の努力、議会  
での発言。

議会広報編集特別委員会  
委員長 二ツ森 英 樹  
副委員長 佐々木 寿 夫

これらが町民の幸福を  
もたらす。

委員 岡 村 茂 雄  
町 田 清 悦

議会広報は、町民に開  
かれたものになりたい。

小 澤 田 公 勇  
坂 義 貞

## 埼玉県伊奈町議会の議員 七戸町で視察研修(8月8日)



議長、副議長ほか 3 人が来訪。  
① 少子化・子育て施策  
② 定住・人口減少施策  
③ 新幹線開通と観光施策  
などに関して意見交換をしました。